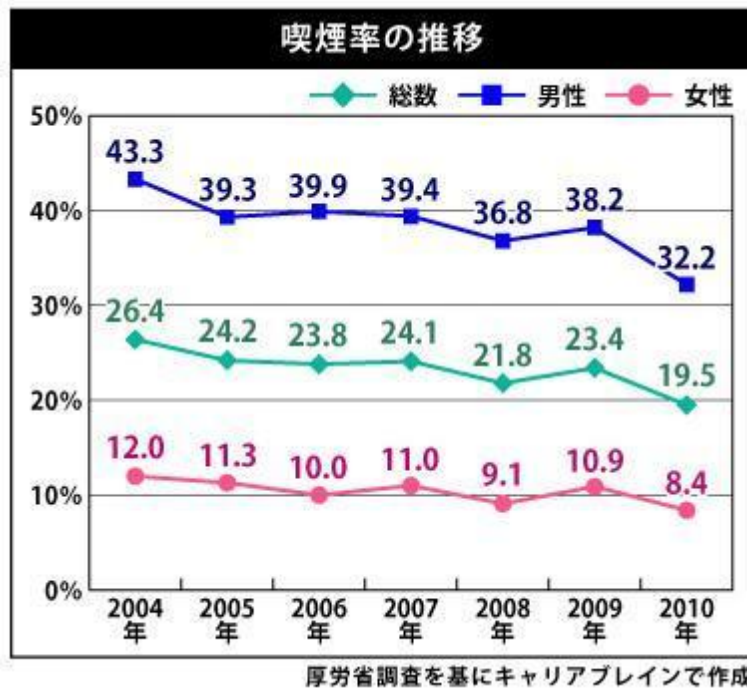


週刊 タバコの正体

タバコを何十年も吸い続けると、かなり高い確率で病気になります。

皆さんにとって、このフレーズはもう見飽きたと思いますが、昔から世間の大人達は、この事をあまり真剣に考えていませんでした。しかし最近、タバコが吸えない場所が増えたり、タバコの値段があがるなか、ようやく「やっぱり、タバコは身体に悪い」ことを真剣に考えはじめたようです。



じつはつい最近、厚生労働省が発表した2010年国民健康・栄養調査によると、喫煙率は日本全体で19.5%にまで減ったそうです。この数字は大人が10人集まっても、喫煙者は二人に満たない事を表わしています。(上図)

男性は32.2%、女性は8.4%にまで減少したのです。グラフが示すように、年々喫煙者が減ってきているという事は、それだけ“禁煙”した人がいるという事です。君達のように学校で、タバコの害の教育を受け、はじめからタバコを吸わない人もどんどん増えていますので、ますます喫煙者はいなくなっていくでしょう。

現在、和工では「タバコなんか吸うのは、馬鹿げている」というのが常識となっていますが、これが世間全体の常識となる日も、そう遠くないかもしれません。